

## 拒絶理由通知書

|          |                      |
|----------|----------------------|
| 特許出願の番号  | 特願2003-084033        |
| 起案日      | 平成18年 2月17日          |
| 特許庁審査官   | 戸次 一夫 9852 5G00      |
| 特許出願人代理人 | ▲柳▼川 信 様             |
| 適用条文     | 第29条第1項、第29条第2項、第37条 |

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

### 理 由

#### 【理由1】

この出願は、下記の点で特許法第37条に規定する要件を満たしていない。

### 記

請求項1に記載された発明は、【理由2】で示すようにすでに公知のものであり、当該発明に関して、「解決しようとする課題」すなわち、“出願時まで未解決であった”技術上の課題や、「主要部」すなわち、解決しようとする課題に対応した“新規な”事項を、見出すことはできない。

したがって、請求項1～7，15～21，29に記載された発明と、その他の請求項に記載された発明とは、産業上の利用分野が同一であったとしても、解決しようとする課題が同一でなく、また、請求項に記載された主要部も同一ではない。

この出願は特許法第37条の規定に違反しているので、請求項1～7，15～21，29以外の請求項に係る発明については新規性、進歩性等の要件についての審査を行っていない。

#### 【理由2】

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1, 15, 29 について引用文献 1, 2

引用文献 1 には、着信回数に応じて着信表示のアニメーションを異ならせることが記載されている（段落【0020】－【0022】を参照）。

引用文献 2 には、携帯電話機の使用頻度に応じて、キャラクタの形状を変化させ、対応するアニメーションを表示を行うことが記載されている。

すなわち、引用文献 1, 2 には、いずれも、所定のイベントの履歴に応じたアニメーション表示を行うことが記載されている。

- ・請求項 3, 17 について引用文献 1

引用文献 1 には、特定発信者毎の着信回数に応じて着信態様を異ならせることが記載されている（段落【0020】－【0022】を参照）。

### 【理由 3】

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 29 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1, 15, 29 について引用文献 1, 2

上記【理由 2】を参照。

- ・請求項 2, 4, 5, 16, 18, 19 について引用文献 1～3

引用文献 3 には、現在時刻や季節に応じてキャラクタ等を変化させることが記載されている（特に段落【0019】，【0030】，【0041】－【0042】を参照）。所定の日付に応じて変化させることも当業者であれば適宜設定し得た事項である。

- ・請求項 3, 17 について引用文献 1～3

上記【理由 2】を参照。

- ・請求項 6, 20 について引用文献 1～4

引用文献 4 には、筐体を開いたときに所定の画面を表示することが記載されて

**BEST AVAILABLE COPY**

いる（特に図5を参照）。

また、引用文献3にも操作部材の操作によって、アニメーション表示を見ることができる旨記載されている（段落【0016】）。操作として筐体の開閉は一般的なものである。

・請求項7, 21について引用文献1～4

引用文献3には、通話終了ボタンの操作等の際にアニメーション表示を見ることができる旨、記載されている（段落【0016】）。

また、引用文献1に基づいて着信等の履歴に応じた表示とすること、および引用文献3に基づいて所定の操作に係る時刻に応じた表示とすることは、当業者であれば容易に想到し得たことである。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2001-217903号公報
2. 特開2000-184446号公報
3. 特開2001-119453号公報
4. 特開2001-268203号公報

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IPC第7版

G06F 3/00  
G06F 13/00  
H04B 7/24- 7/26  
H04M 1/00  
H04M 1/24- 1/253  
H04M 1/58- 1/62  
H04M 1/66- 1/82  
H04M 3/42- 3/58  
H04M 11/00-11/10  
H04Q 7/00- 7/38

・先行技術文献

特開2000-115304号公報  
特開平11-065798号公報

BEST AVAILABLE COPY

特開2001-282751号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 電話通信 戸次 一夫(べっき かずお)

TEL. 03(3581)1101 内線3526 FAX. 03(3580)6907

BEST AVAILABLE COPY